



IF YOU COULD SEE WHAT I HEAR

愛が聞こえる

心しか見えない
僕の隣りに
友があり
歌があり
そして愛があつた—

マーク・シンガー
R・H・トムソン
サラ・トルゴフ
シャリ・ベラフォンテ・ハーバー
ダグラス・キャンベル

製作・監督 エリック・ティル
音楽 トム・サリバン

〈カラー作品〉アメリカ映画
松竹・富士映画 共同配給

愛が聞こえる

IF YOU COULD SEE
WHAT I HEAR

〈カラー作品〉

松竹・富士映画共同配給

★スタッフ★

製作／監督……………エリック・ティル
脚本／共同製作……………スチュワート・ギラード
撮影……………ハリー・マキン
歌／音楽……………トム・サリバン

★キャスト★

トム・サリバン……………マーク・シンガー
パティ・ステファン……………サラ・トルゴフ
ウィル・スライ……………R・H・トムソン
ヘザー・ジョンソン……………シャリ・ベラフォンテ・ハーバー
ポーキー・サリバン……………ダグラス・キャンベル

☆しあわせは音楽の中にあった 君はトム・サリバンほど青春を謳歌できるか

トムは実在の人物である。6年前、第6回世界歌謡祭が東京で開かれた際来日、みごと金メダルを獲得した盲目の歌手こそ、この映画の主人公なのだ。彼は1947年に生まれた。生後すぐに保育器に入れられたが、その時の酸素吸入量が多すぎたのが原因で失明してしまった。ところがトムは、そのハンディキャップのために歩みを阻まれるということを知らなかった。それどころか、人の数倍もよろこびと興奮に満ちた青春を送ってきたのだ。何しろ子供の時から大のスポーツ狂いで、野球だろうがバスケット・ボールだろうが何でも来いの万能選手。特にレスリングでは連勝に連勝を重ね、米ハイスクールの新記録を樹立したほどののだ。全寮制の盲学校を経て入学したのは名門ハーバード大学。映画で見られるような陽気な学生時代を送った彼はここで多くの友情も知り、女の子たちともちょっぴりハメをはずし、そしてほんとの愛を教えてくれた妻を得た。この映画のタイトル「愛が聞こえる」は、彼のヒット曲「If You Could See What I Hear」『きみに愛が見えるか』(サイマル出版会刊)にもつながっているが、一瞬一瞬を手探りでつかんできた彼には、その重みもよろこびも、わたしたちが見る以上に聞こえていたにちがいない。

☆マーク・シンガーらフレッシュな演技陣が快い感動をもたらしてくれる

主役のトム・サリバンを演じているのは、『ジョーイ』で白血病の弟を愛してやまない実在のフットボール選手を力演したマーク・シンガー。今回も体当たりで盲目のシンガー・ソングライターになりきって、わたしたちに快い感動を与えてくれている。恋人パティには「ミートボール」で日本にお目見得したサラ・トルゴフ、そしてハリー・ベラフォンテの娘、シャリ・ベラフォンテ・ハーバーがもう一人の美しい共演者だ。

製作・監督はエリック・ティル。脚本と共同製作に名を連ねるスチュワート・ギラードは俳優としても有名で「F I S T」「復活の日」などに出演、最近では話題作「パラダイス」の監督も手がけるという才能の持ち主である。

☆あなたの心に愛する勇気をわたしたい
いま、すべての人がこの愛に拍手

トム・サリバンは生まれた時から光を失っていた。しかし持ち前の陽気さと強い意志で、それをハンディキャップと感じることはなかった。ハンサムだしスポーツは万能、頭が良くウィットに富んだトムは、カレッジ・ライフを思いきり楽しんでいた。そして何よりも心から音楽を愛していたのだった。

そんなトムが恋をした。チャーミングな一人の黒人女性が彼の心を虜にしたのだ。真剣に将来を考えるトムだったが、黒人と白人という人種の壁を取りはらうことはできなかった。失恋の痛手に、トムは次第に自暴自棄になっていく。

ある日、プールに落ちた子供を助けようとトムは水に飛び込んだが、水の中では音に頼るわけにはいかず、なかなか助けることができなかった。幸い子供の命はとりとめたものの、トムは生まれて初めて、目が見えないことのハンディを思い知らされたのだった。

けれどもこの事件がきっかけとなって、トムは新たな愛に巡りあうことになる。彼の耳には、すばらしい愛の歌が聞こえてくるのだった。

☆マーク・シンガーはこの映画で身体全体で友人
トムの青春を語った

マーク・シンガーの役づくりはたいへんだった。盲目の人の世界を知り、感覚や動作をマスターするだけでも至難の技なのに、トムはスポーツ万能、おまけにすぐれたシンガー・ソングライターときている。音楽は大好きだからピアノやギターは少し弾けたけど、ゴルフもレスリングもプロについて猛特訓を受け、改めてトムのすごさに舌を巻いた次第。短い間だがトムの人生を生きたシンガーは、この新しい友人に心からの敬意を払っている。「ぼくがこの仕事を通じて得たいちばん大きな収穫は、ぼくの身に何かふりかかった時も彼ほどの勇気をもって立ち向かいたい、と思えたことなんだ。見えることと見ることはちがう。彼は見ようとしている人だ。」

'82年新春1月《愛》のロードショー

歌舞伎町コマ劇場前 (200)
新宿東急 1981

伊勢丹斜め前 (351)
新宿東映パラス 3061

渋谷東急文化会館B1 (407)
渋谷東急レックス 7019

東口バルコ先左側 (971)
池袋東急 2727

有楽町フードセンター前丸の内東映地下 (535)
丸の内東映パラス 4740